

平成 23 年度普通会計決算見込みについて (概要)

■ 平成 23 年度の普通会計の決算見込み

区 分	平成 23 年度 (A)	平成 22 年度 (B)	増減額 (A)-(B)=(C)	増減率 (C)/(B)
歳入総額 (a) 【実質規模】	2兆8,472億円	3兆6,819億円 【3兆 231億円】	▲8,347億円 【▲1,759億円】	▲22.7% 【▲5.8%】
歳出総額 (b) 【実質規模】	2兆8,203億円	3兆6,418億円 【2兆9,789億円】	▲8,216億円 【▲1,587億円】	▲22.6% 【▲5.3%】
形式収支 (a)-(b)=(c)	269億円	401億円	▲132億円	—
翌年度へ繰越すべき 財源 (d)	145億円	127億円	18億円	—
実質収支 (c)-(d)=(e)	124億円	274億円	▲150億円	—
単年度収支	▲150億円	▲51億円	▲99億円	—

※実質規模とは、財政運営の一層の適正化に向けた取組として、基金借入の解消のため、歳入：基金取崩6,588億円などを財源に、歳出：借入金償還6,629億円を行った、平成22年度特有の影響を控除した額を示します。

■ 平成 23 年度決算見込み額の概要

- ・ 実質収支は124億円、4年連続で黒字を維持。
- ・ 府税収入は4年連続で減少。
- ・ 制度融資の再構築などにより、決算規模（実質規模）は縮小。
- ・ 地域整備事業会計を廃止するなど、財政のリスクマネジメントに適切に対応。

【参考】一般会計決算見込み額

歳入総額 3兆 560億円 (対前年度実質規模比 ▲6.2%)

歳出総額 3兆 377億円 (対前年度実質規模比 ▲5.7%)

実質収支 105億円 (前年度に比べ152億円縮小)

※財政運営基本条例第20条に基づき、1/2ずつが財政調整基金と減債基金に積立てられる